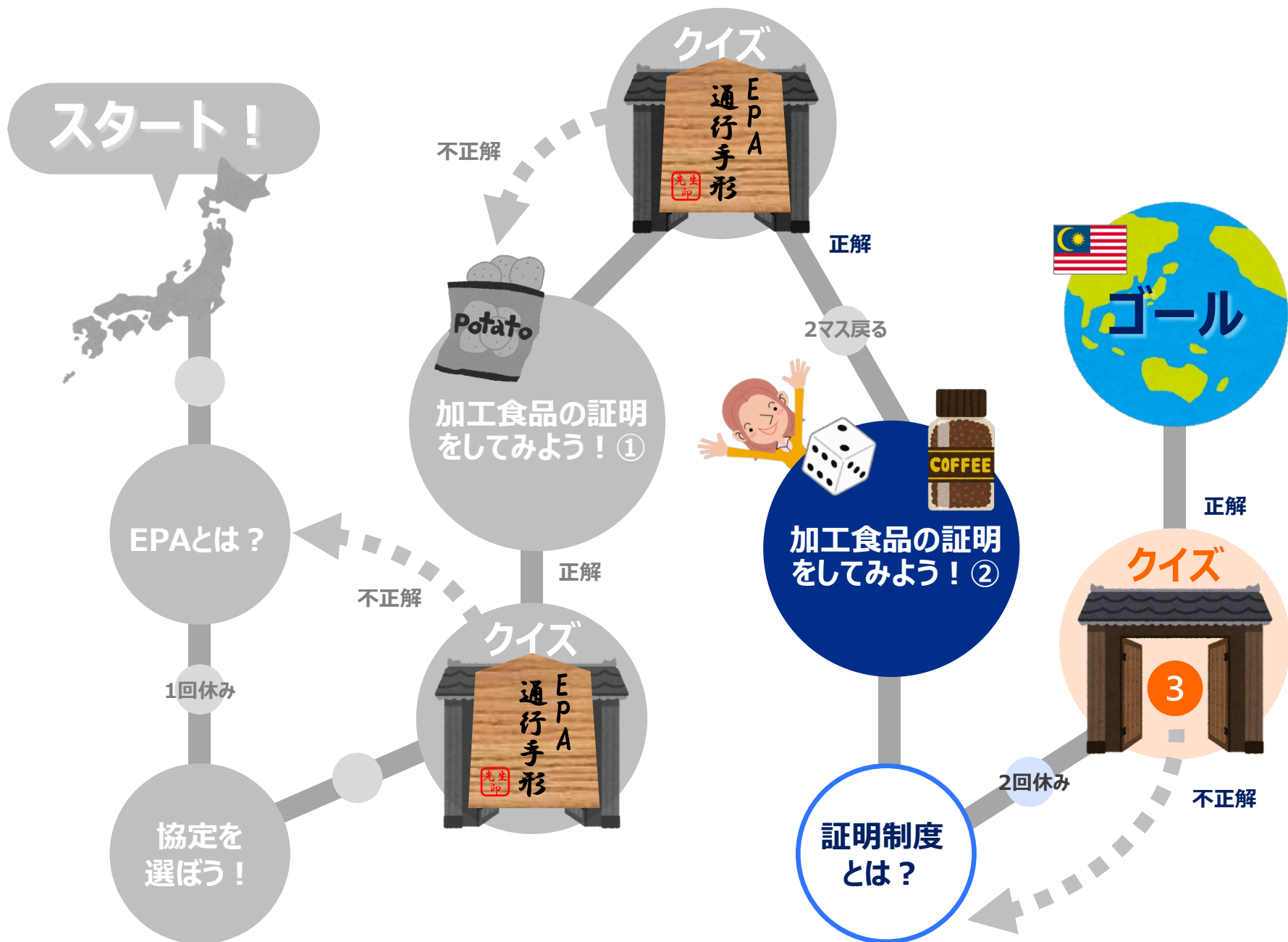
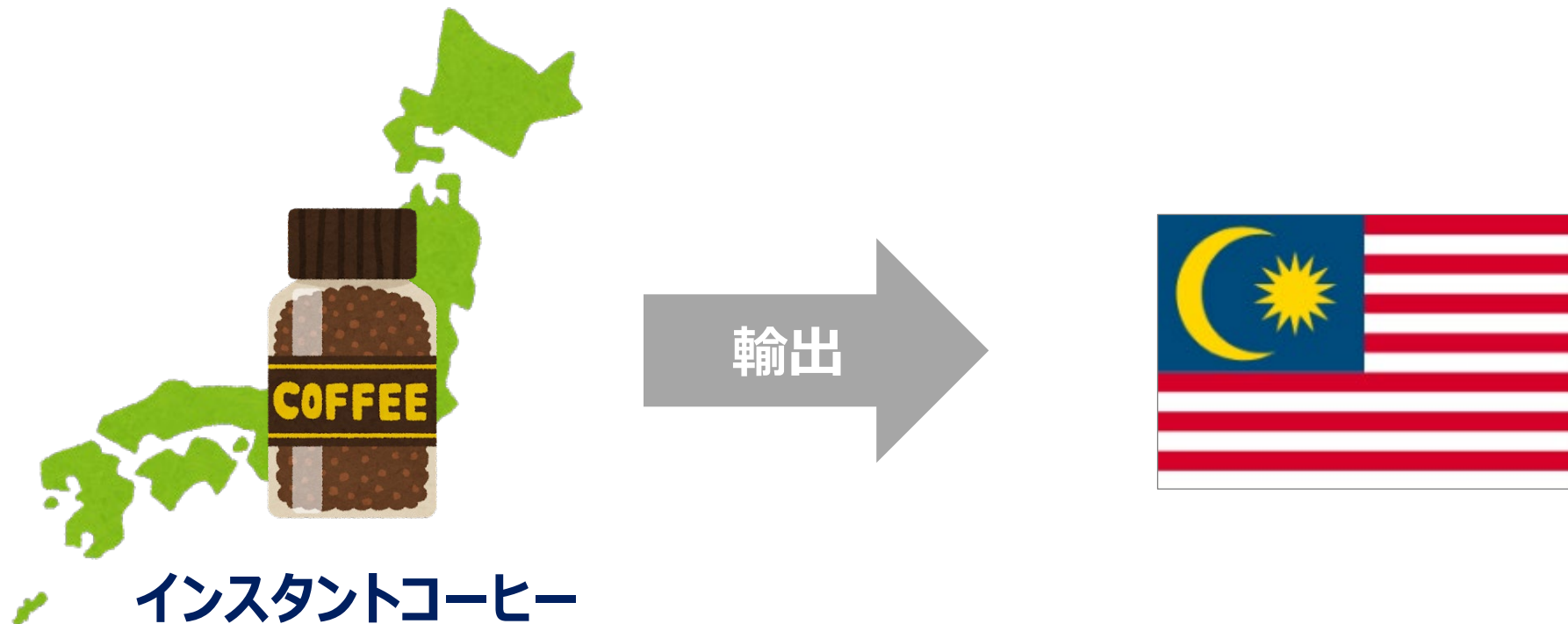




インスタントコーヒーを輸出する場合・・・



弊社はインスタントコーヒーもマレーシアへ輸出しております！



税率を比較してみよう！

輸出産品	協定	適用前関税率	適用後
インスタントコーヒー HSコード： 2101.11 	日マレーシア協定	5.0%	0%
	日アセアン協定	5.0%	0%
	CPTPP	5.0%	0%
	RCEP協定	5.0%	0%



先ほどの説明で流れは理解できました！
税率が同じ場合、まずはそれぞれの
協定の品目別原産地規則を確認して
みるのですね？



その通りです！
品目によって、品目別原産地規則が
異なるので、インスタントコーヒーでは
どうなるのか、確認してみましょう！

インスタントコーヒー（2101.11）の品目別原産地規則

HSコード

2101.11



×

日マレーシア
協定

日アセアン
協定

CPTPP

RCEP協定*1

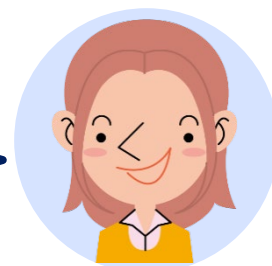
||

CC

要約

21類に入る非原産材料を使用していない

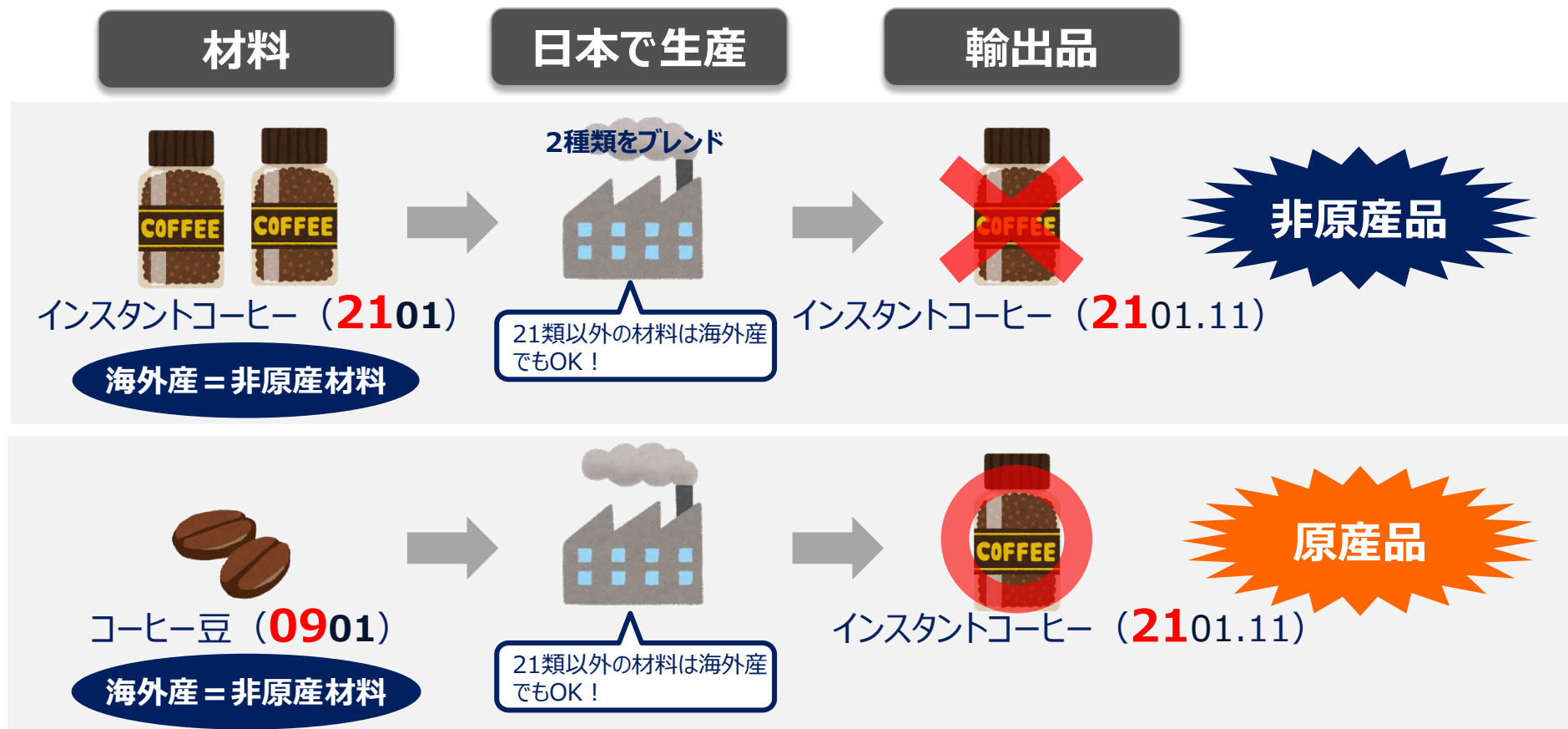
どの協定も条件は同じですね！



*1 RCEP協定は「CC又はRVC40」であるが、ここでは他協定との比較のためにCCを選択する前提

「RVC40」とは、輸出品の取引価額から非原産材料の合計価額を差し引いた付加価値が取引価額の40%以上を占める場合には原産品となる判断基準

何れの協定であっても・・・



弊社はブラジルから豆を輸入して日本でインスタントコーヒーにしております！そのため、どの協定においても原産品となります！！





あれれ・・・

確かにどの協定を利用しても原産品
になりますが、こういう場合はどうやって
利用協定を決めたらよいのでしょうか・・・



このような場合には、**証明制度を
比較**してみることをお勧めします！

証明制度？
証明制度ってなんですか？



証明制度とは原産地証明書の入手方法



原産品であることの
確認はできた！

原産品であることの確認方法

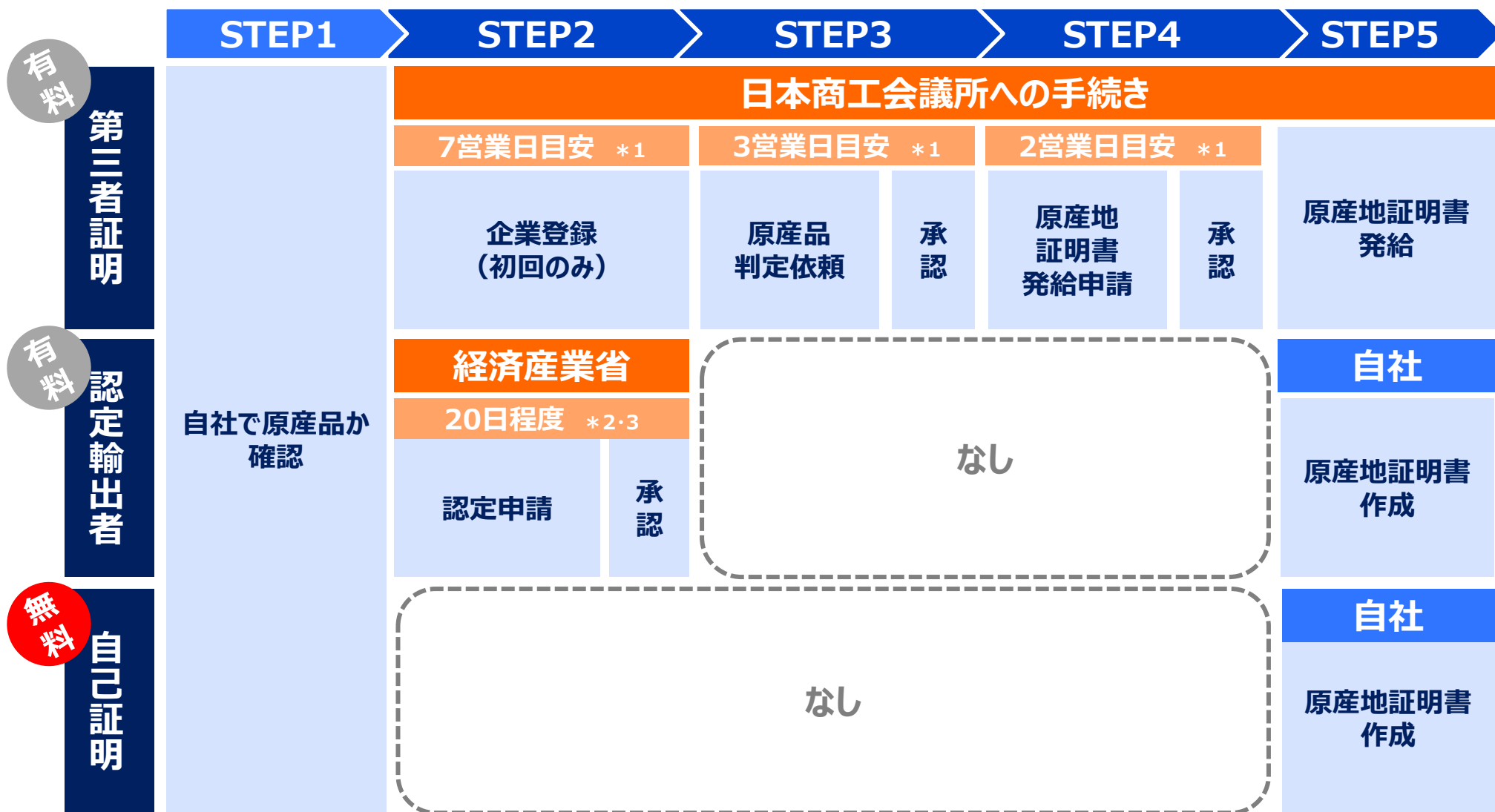
ここまでは証明制度に
かわらず確認方法は同じ

原産地証明書の入手方法

EPAの
原産地
証明書

ここからが証明制度により異なる！
証明制度は3種類

3種類の証明制度の違い



*1 出所：日本商工会議所パンフレット「あなたもできる第一種特定原産地証明書取得ガイド」

*2 出所：経済産業省HP「経済連携協定（EPA）に基づく認定輸出者自己証明制度申請・利用の手引き」

*3 認定申請にかかる書類準備時間は含まれない

マレーシアへの輸出で使えるEPAの証明制度

日マレーシア協定	第三者証明制度	認定輸出者制度	自己証明制度
日アセアン協定	第三者証明制度	認定輸出者制度	自己証明制度
CPTPP	第三者証明制度	認定輸出者制度	自己証明制度
RCEP協定	第三者証明制度	認定輸出者制度	自己証明制度

協定によって使える証明制度は異なるんですね！





CPTPPだと日本商工会議所への申請
も経済産業省からの認定も
要らないのですか？



はい！

自己証明制度を採用している協定では
日本商工会議所へ申請するのではなく
経済産業省から認定を受けることなく
輸出者自ら原産地証明書の作成が可能です。
どの様に作成するのか見てみましょう！

CPTPPの原産地証明書

必須記載項目1～9を記載した証明書を作成する *1

記載例

Certification of Origin (Comprehensive and Progressive Agreement for Trans-Pacific Partnership)				
1. Exporter's name, address (including country name), telephone number and e-mail address (This field can be left blank if this certification is completed by producer and the exporter is unknown.)				1. 輸出者情報
2. Producer's name, address (including country name), telephone number and e-mail address (This field can be left blank if exporter and producer is the same company or person. If there are multiple producers, state "Various" or provide a list of producers. A person that wishes for this information to remain confidential may state "Available upon request by the importing authorities.)				2. 生産者情報
3. Importer's name, address in the importing country, telephone number and e-mail address (This field can be left blank if importer is unknown.)				3. 輸入者情報
4. Description of goods: • Description of good(s) • Invoice number(s) (in case the certification of origin covers a single shipment of a good and if the number is known.)		5. HS tariff classification number (6 digit, HS2012) of goods	6. Origin criterion (WTO, FTA, CPTPP, and other (if known, Accumulation), if applicable)	5. HSコード
7. Blanket Period (If the certification covers multiple shipments of identical goods for a specified period of up to 12 months)				6. 適用する 原産性の基準
8. Other (any other applicable origin criterion or other indication)				
9. Certification I certify that the goods described in this document qualify as originating and the information contained in this document is true and accurate. I assume responsibility for proving such representations and agree to maintain and present upon request or to make available during a verification visit, documentation necessary to support this certification. Date _____ Name _____ (signature or stamp) Please tick a box to indicate who has completed this origin certification document: ☐ Importer ☐ Exporter ☐ Producer				9. 誰が作成した原産地証明書か？

4. 産品の概要

7. 包括的な期間
(同一の産品が2回以上
輸送される場合の期間、
1年以内)

8. 証明者の誓約・署名・日付

*1 協定上フォーマットは規定されていないため、上記フォーマットに限定されない
上記フォーマット出所：税関HP 原産地規則ポータル > 原産地証明手続 原産品申告書 TPP 英文Word
<https://www.customs.go.jp/roo/procedure/index.htm>

自己申告書に記載する内容①

輸出者情報、生産者情報、輸入者情報を記載

Certification of Origin

(Comprehensive and Progressive Agreement for Trans-Pacific Partnership)

1. Exporter's name, address (including country name), telephone number and e-mail address

(This field can be left blank if this certification is completed by producer and the exporter is unknown.)

Hinge Industry Co, Ltd.

1-1-1, Keihin, Ota-ku, Tokyo, Japan / TEL. +81-X-XXXX-XXXX / e-mail: info@xxxx.com

1.輸出者情報

2. Producer's name, address (including country name), telephone number and e-mail address

(This field can be left blank if exporter and producer is the same company or person. If there are multiple producers, state "Various" or provide a list of producers. A person that wishes for this information to remain confidential may state "Available upon request by the importing authorities.)

2.生産者情報 *1

3. Importer's name, address in the importing country, telephone number and e-mail address

(This field can be left blank if importer is unknown.)

Australia trading company Inc.

100 Bourke St, Melbourne, VIC, Australia / TEL: +1-YYY-YYY-YYYY / e-mail: info@zzz.com

3.輸入者情報

*1 輸出者兼生産者の場合は、生産者情報の記載は不要

自己申告書に記載する内容②

品名、HSコード、適用する原産性の基準を記載

4. Description of goods ▪ Description of good(s) ▪ Invoice number(s)(in case the certification of origin covers a single shipment of a good and if the number is known.)	5.HS tariff classification number (6 digit, HS2012) of goods	6. Origin criterion (WO, PE, PSR); and Other (<i>De Minimis, Accumulation</i>), if applicable
4.品名	5.HSコード	6.適用する原産性の基準

	原産品のカテゴリー	記載する記号
適用する原産性の基準	完全生産品	WO
	原産材料のみから生産される産品	PE
	品目別原産地規則を満たす産品	PSR



PSRは品目別原産地規則の略称です！

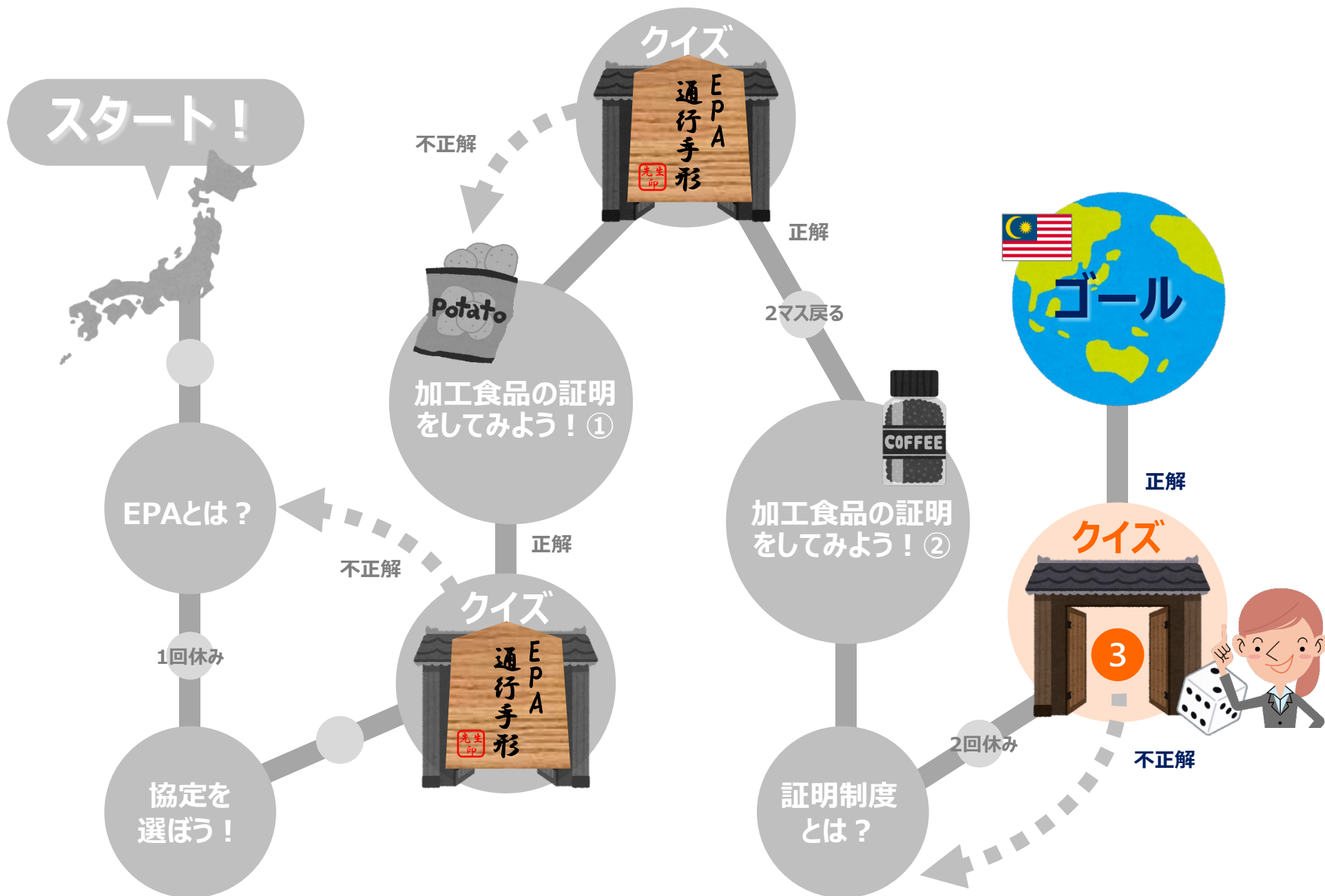


自己申告書に記載する内容③

包括的な期間、証明者の誓約・署名・日付、
誰が作成した原産地証明書かを記載

7 . Blanket Period (If the certification covers multiple shipments of identical goods for a specified period of up to 12 months)
7.包括的な期間 *1
8. Other (any other applicable origin criterion or other indication)
9. Certification I certify that the goods described in this document qualify as originating and the information contained in this document is true and accurate. I assume responsibility for proving such representations and agree to maintain and present upon request or to make available during a verification visit, documentation necessary to support this certification. Date <u>2019/07/01</u> Name <u>Hanako Yamada</u> (signature or stamp) <i>Hanako Yamada</i> Please tick a box to indicate who has completed this origin certification document: ☐ Importer ☒ Exporter ☒ Producer
8.証明者の誓約・署名・日付
9.誰が作成した原産地証明書か？

*1 期間は最大1年間。期間を設定する際は設定期間内において原産性が維持されているか、毎回のインボイスに記載している产品名称と一致していることが要件





クイズ 第3問



CPTPPで使える証明制度はどちらでしょうか？

A

第三者証明制度

B

自己証明制度



クイズ 第3問

CPTPPで使える証明制度はどちらでしょうか？

A

第三者証明制度



B

自己証明制度



クイズ 第3問

CPTPPで使える証明制度はどちらでしょうか？

A

第三者証明制度

B

自己証明制度





クイズ 第3問

CPTPPで使える証明制度はどちらでしょうか？

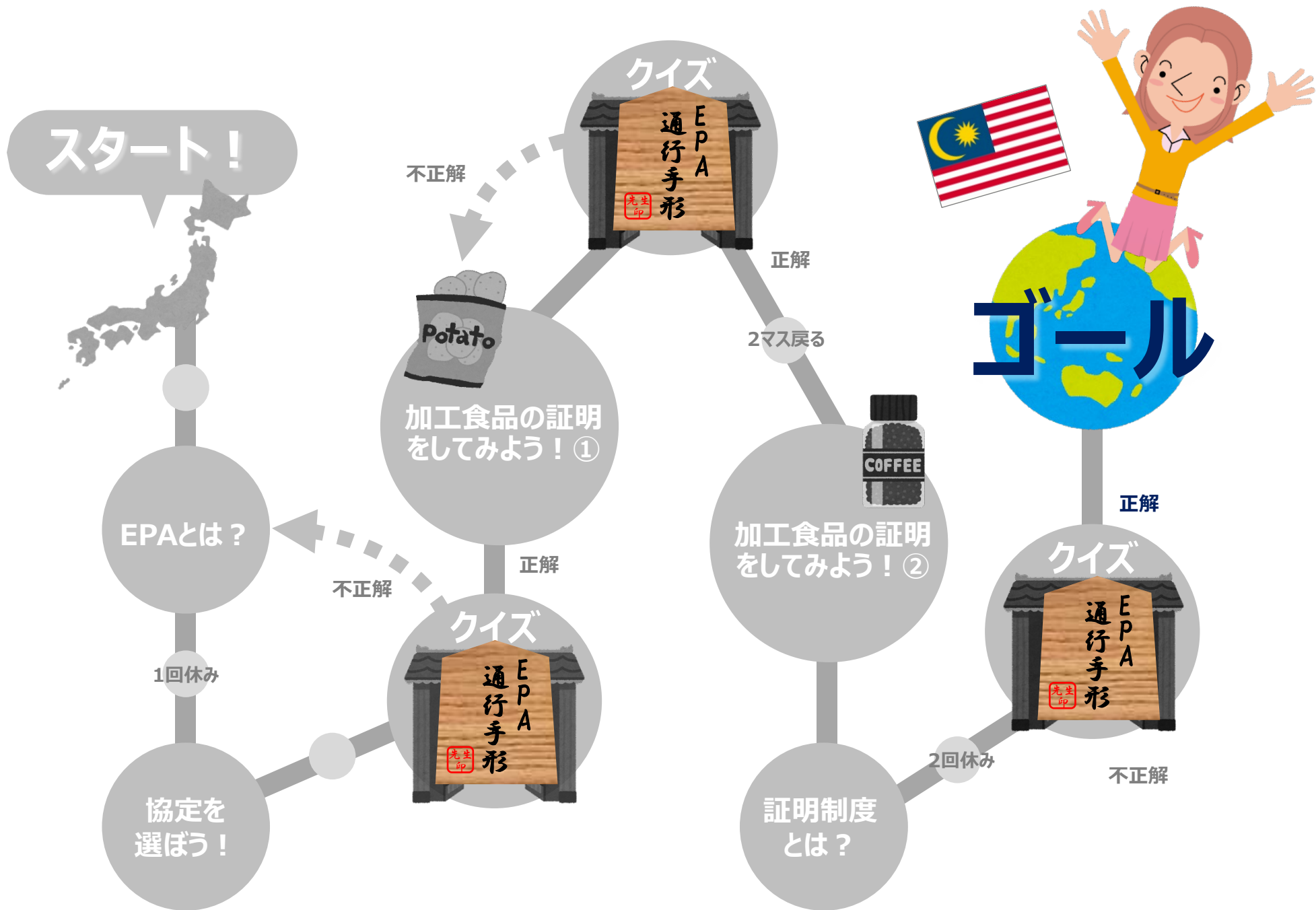
A

第三者証明制度

B

自己証明制度





原産品であることの証明方法も
分かったし、インスタントコーヒーは
CPTPPを使って輸出してみたい
と思います！



マレーシアへの輸出でお得な品目早見表

2024年1月1日現在

品 目 名	HSコード	MFN税率	日マレーシア協定		日アセアン協定	
			第三者証明		第三者証明	
			EPA税率	品目別 原産地規則	EPA税率	品目別 原産地規則
精米	1006.30	40.0%	除外	-	除外	-
清酒(日本酒)	2206.00	25.5MYR/100 %vol/L	除外	-	除外	-
ウイスキー	2208.30	58MYR/L	除外	-	除外	-
うどん そうめん そば	1902.19	5.00%	無税	CC	無税	CC
即席麺	1902.30	5%、6%、8%	無税	CC	無税	CC
パックごはん	1904.90	7%	無税	CC	無税	CC

(注) MYR,RMはマレーシア・リンギット

マレーシアへの輸出でお得な品目早見表

2024年1月1日現在

品 目 名	HSコード	MFN税率	CPTPP		RCEP協定	
			自己証明		第三者証明 認定輸出者	
			EPA税率	品目別原産地規則	EPA税率	品目別原産地規則
精米	1006.30	40.0%	14.5% 2028年に無税	CC	除外	-
清酒(日本酒)	2206.00	25.5MYR/100 %vol/L	RM14.34 per 100% vol. per litre 2033年に無税	CTH *1	除外	-
ウイスキー	2208.30	58MYR/L	RM32.62 2033年に無税	非原産材料に含まれる 総アルコール量が 製品の総アルコール量 の10%を超えないこと。	除外	-
うどん そうめん そば	1902.19	5.00%	無税	CC	無税	CC
即席麺	1902.30	5%、6%、8%	無税	CC	無税	CC
パックごはん	1904.90	7%	無税	CC	無税	CC

(注) MYR, RMはマレーシア・リンギット

*1 CTHとは輸出品のHSコードと材料のHSコードを4桁（項）レベルで比較し、変更が生じている場合には輸出品が原産品と認められる基準

マレーシアへの輸出でお得な品目早見表

2024年1月1日現在

品 目 名	HSコード	MFN税率	日マレーシア協定		日アセアン協定	
			第三者証明		第三者証明	
			EPA税率	品目別 原産地規則	EPA税率	品目別 原産地規則
ぶどう（生鮮）	0806.10	5%	無税	CC	無税	CC
いちご（生鮮）	0810.10	5%	無税	CC	無税	CC
キャンデー	1704.90	15%	無税	CTH *1	無税	CC
ビスケット せんべい	1905.31 1905.90	無税、6%	無税	CC	無税	1905.31 : CC 1905.90 : CC ex 11.05項
醤油	2103.10	10%	無税	CC	無税	CC
味噌、カレー、マヨネーズ、ドレッシング類	2103.90	5%、10%	無税	CC	無税	CC
アイスクリーム	2105.00	5%	無税	CC	無税	CC

*1 CTHとは輸出品のHSコードと材料のHSコードを4桁（項）レベルで比較し、変更が生じている場合には輸出品が原産品と認められる基準

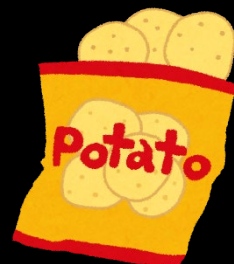
マレーシアへの輸出でお得な品目早見表

2024年1月1日現在

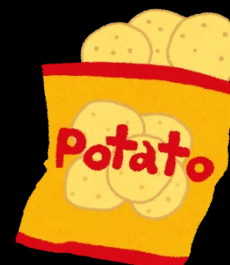
品 目 名	HSコード	MFN税率	CPTTP		RCEP協定	
			自己証明		第三者証明 認定輸出者	
			EPA税率	品目別原産地規則	EPA税率	品目別原産地規則
ぶどう（生鮮）	0806.10	5%	無税	CC	5% 2031年に無税	CC
いちご（生鮮）	0810.10	5%	無税	CC	無税	CC
キャンデー	1704.90	15%	無税	CTH *1	無税	CTH
ビスケット せんべい	1905.31 1905.90	無税、6%	無税	CTH *1	無税	CTH *1 or RVC40
醤油	2103.10	10%	無税	CTH *1	10% 2036年に無税	CCorRVC40
味噌、カレー、マヨネーズ、 ドレッシング類	2103.90	5%、10%%	無税	CTSH *2 or RVC30（積上げ方式） もしくは RVC40（控除方式）	無税	CCorRVC40
アイスクリーム	2105.00	5%	無税	CTH *1 (ex 0401から0406までの 各項の材料、1901.90の 酪農調製品（乳固形分の 含有量が乾燥状態において 全重量の10%を超えるもの）、 2106.90の酪農調製品（乳固形分の含有量 が乾燥状態において全重量 の10%を超えるもの）)	無税	CC or RVC40

*1 CTHとは輸出品のHSコードと材料のHSコードを4桁（項）レベルで比較し、変更が生じている場合には輸出品が原産品と認められる基準

*2 CTSHとは輸出品のHSコードと材料のHSコードを6桁（号）レベルで比較し、変更が生じている場合には輸出品が原産品と認められる基準



EPAを利用できそうだと
思われた方・・・是非
沢山リアクションをお願いします！



▶ 農水省設置のEPA利用相談窓口とEPA利用早わかりサイト



- ✓ EPAを利用したら**関税が下がるの**…？
- ✓ そもそも**原産地規則**ってなに…？
- ✓ 商品の**HSコード、税率がわからない**…
- ✓ どの協定を利用すれば**一番お得なのか**、わからない…

- ✓ 日本商工会議所での**判定依頼**について相談したい…
- ✓ 適切な書類を準備したのに、輸出先国の税関で**特惠税率が認められず、MFN税率を支払わされた**…※ etc.



どんな些細な疑問にもお答えいたします。
わからないことや困っていること等がありましたら、お気軽に
epariyousoudan@maff.go.jpにご連絡下さい。



EPA利用早わかりサイト
QRコード

又はEPAを利用するために必要な情報を簡単に
入手できる「[EPA利用早わかりサイト](#)」をご覧ください。

※詳しくは2021年6月10日付農水省プレスリリース「[EPA利用相談窓口へのアクセスで
問題解決\(税関での超過支払いを是正\)!](#)」をご覧ください。

**ご清聴ありがとう
ございました！**



免責事項

当資料は情報提供を目的として作成した参考資料であり、特定の商品やサービスの奨励やその勧誘を目的としたものではありません。当事務所が信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性および完全性を保証するものではありません。当事務所は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。当資料に含まれる方法は作成時点のものであり、関連法令の改正によって予告なく変更または廃止することがあります。

当資料に関する著作権は情報提供元のクレジット記載があるものを除きすべて当事務所に属しますので、当事務所の事前の書面による同意を得ることなく資料の複製、転用、再配布等を行うことはできません。